

科目ナンバー	EDU-2-009-ky	科目名	日本語教授法		
教員名	渡邊 知釈	開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	<p>■第二言語・外国語のさまざまな教授法の実例を視聴したり未知の外国語学習を体験したりしながら、その背景にある心理学・言語習得等に関する理論を学ぶ。■理論的背景を踏まえた上で、具体的な日本語指導の枠組みと個々の授業の組み立てについて考え、試行し、省みる。■本学日本語教育科目群を履修予定の学生は、この科目が最重要の基礎科目であるため、できるだけ早い段階で受講することが望ましい。■日本語教育のみにとどまらず、英語その他外国語の学習・教育に興味を持つ学生にとっても有益である。</p>				
到達目標	<p>■さまざまな外国語・第二言語教授法とその背景理論を理解し、言語を教えることと学ぶことについて、研究に基づいた知見を得る。■日本語教育関連の演習や実習等の履修に際し必要となる知識や用語を身につけ、実践課題に対応するための基礎的な能力を身につける。</p>				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力	伝え合う力	○	分析し、思考する力
共生のための態度	○	自己を抑制する力	協働する力	○	構想し、実行する力
グローバル・マインド	○	主体性	関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	<p>■講師による講義と、受講者グループによるディスカッション・課題発表などを組み合わせて授業を進める。講義は内容の密度が高いため、不明点を放置せず、授業内ではいつでも質問を歓迎する。■グループ課題に際しては、授業外での調査・打ち合わせ・資料作成作業が必要となる。■グループ課題や小テストに対しては、授業中にフィードバックのための時間を設ける。■課題や連絡等はMoodleで確認すること。</p>				
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	特にないが、「日本語教育概論」の単位を取得済みであることが望ましい。				
アセスメントポリシー及び評価方法	<p>■学習プロセスの着実な実行(クラス・グループ活動への積極的参加、課題の提出):50%◆たんに話を聞くだけでなく、クラス全体やグループでのディスカッションに対する積極的な参加が求められる。◆消極的・非協力的な姿勢(ディスカッションでの不適切な沈黙、授業に関係のない電子機器使用、居眠り等)があった場合は授業妨害とみなし厳しく減点する。■個人・グループ課題のパフォーマンス:20%◆上記の「プロセス」に加え、個人課題・グループ課題の完成度が評価対象となる。■小テスト・期末試験:30%・講義の理解度と課題への取り組みから得たものが評価対象となる。■※課題や連絡等はMoodleで確認すること。</p>				
教材	必要に応じて配布する。				
参考図書	<p>■今井新悟『いちばんやさしい日本語教育入門』アスク978-4866391915 ■『みんなの日本語初級I 第2版本冊』スリーエーネットワーク、ISBN:9784883196036 ■寺田和子ほか『日本語の教え方ABC―「どうやって教える?」にお答えします』アルクISBN-13: 978-487234915</p>				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	1.オリエンテーション				
授業外学修内容				時間数	
2週目					
授業学修内容	2.グループ作成／ディスカッション				
授業外学修内容	英語教育についての問題点を調べる			時間数	2
3週目					
授業学修内容	3.これまでの外国語教授法:文法訳読法とオーディオリンガル・メソッド				
授業外学修内容	オーディオリンガルメソッドによる授業のビデオ視聴			時間数	2
4週目					
授業学修内容	4.オーディオリンガル・メソッドの練習方法				

授業外学修内容	オーディオリンガルメソッドによる授業のビデオ視聴	時間数	2
5週目			
授業学修内容	5.オーディオリンガル・メソッドからコミュニカティブ・アプローチへ		
授業外学修内容	アーミーメソッドについて調べる	時間数	2
6週目			
授業学修内容	6.コミュニカティブ・アプローチの活動方法		
授業外学修内容	コミュニカティブ・アプローチについて調べる／テスト準備	時間数	2
7週目			
授業学修内容	7.小テスト／フィードバック／指導効果の研究と背景理論		
授業外学修内容	小テスト振り返り／エビデンスに基づいた外国語教育政策について調べる	時間数	2
8週目			
授業学修内容	8.直接法による外国語授業体験		
授業外学修内容	フィードバックレポート	時間数	2
9週目			
授業学修内容	9.外国語授業体験振り返り／直接法／イメージ・プログラム		
授業外学修内容	直接法・イメージ教育について調べる／グループ発表準備	時間数	2
10週目			
授業学修内容	10.音韻の習得		
授業外学修内容	赤ちゃんの言葉の習得について調べる／グループ発表準備	時間数	2
11週目			
授業学修内容	11.第二言語習得研究と教授法		
授業外学修内容	第二言語習得研究について調べる／グループ発表準備	時間数	2
12週目			
授業学修内容	12.PPPによる初級指導の流れ:導入		
授業外学修内容	グループ発表準備	時間数	6
13週目			
授業学修内容	13.PPPによる初級指導の流れ:練習と活動		
授業外学修内容	グループ発表準備	時間数	6
14週目			
授業学修内容	14.グループ発表		
授業外学修内容	フィードバックレポート	時間数	2
15週目			
授業学修内容	15.グループ発表フィードバック／シラバス・コースデザイン・評価		
授業外学修内容	総復習／テスト準備	時間数	6
上記の授業外学修時間の合計		40	
その他に必要な自習時間		50	

Number	EDU-2-009-ky	Subject	Methodologies for Teaching Japanese
--------	--------------	---------	-------------------------------------

Name	渡邊 知釈 (Watanabe Tomoseki)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>In this course, you will watch and experience various teaching methods of second/foreign languages, and are expected to learn theories of psychology and language acquisition. You will also have a rare opportunity to learn a new foreign language. Based on the theoretical background, you are encouraged to think, try, and reflect on a framework of Teaching Japanese as a Second/Foreign language and design individual classes. Students who wish to take the university program for Teaching Japanese as a Second Language are strongly recommended to take this course as early as possible because this subject is the most important and fundamental one. It is beneficial not only for students of Teaching Japanese as a Second/Foreign Language Program, but also for students interested in learning and teaching English and other foreign languages.</p>				